



# 笠山

阿久根市立三笠中学校  
学校便り 1月号

校訓 自主 協調 持続

キャッチフレーズ  
「凜とした生徒の育成  
良さを見つけ、引き出し、  
伸ばすみかさの教育」

## 3学期がスタート！ 29年度の総仕上げとよりよい30年度に向けた準備を進めていきます！



三笠中の  
グラウンドから  
見た初日の出

いよいよ本年度最後の学期、3学期が始まりました。授業日数は53日(3年生は46日)と1、2学期に比べて短いですが、1年間を締めくくるとともに新年度へつながる学期(平成30年度0学期)でもあります。始業式では3学期の意義にふれつつ、次の点を強調しました。

- ・ 3学期を充実させるために健康に留意し、『さあ、やるぞ!』と行動を起こす心」と「あきらめず、くじけず、やり抜く心」の2つを胸に抱いてほしい。
- ・ 一日は誰にとっても24時間。そして時間は止まらず、その日は必ずやってくる。3年生にとって大きな関門の公立高校入試まであと55日。運動部の生徒の大きな目標である地区総体まで約5ヶ月。未来、将来のことは誰にも分からない…。だからこそ、未来、将来は無数の可能性があるのだ。ただ、未来は今とつながっていることだけは言える。つまり、今の自分が未来の自分を作っていくのだ。自らの頑張り、3学期そして平成30年を輝かせてほしい。



雪の三笠中

## あきらめなかった者、挑戦し続けた者だけが…夢にたどり着く

1月12日はかなりの雪となりました。雪にちなんで1月16日の全校朝会では次のような駒大苫小牧高校野球部の話をしました。

「高校野球界では長年にわたり『白河の関を越えることはできない』という言葉が使われてきた。それは、甲子園で北海道・東北勢が優勝したことがなく、優勝旗が“白河の関”(現福島県白河市)を越えること

はないという意味だった。しかし、平成16年8月、とんでもないことが起きた。北海道代表の駒澤大学附属苫小牧高校が優勝したのだ。優勝旗は白河の関どころか、津軽海峡までも渡ったのだった。

当時の香田誉士史監督が就任したのは平成7年。24歳の若さだった。その頃の野球部は地区大会でも1、2回戦で敗退する弱小チーム。それでも香田監督は『いつかは甲子園に連れて行き、日本一にしたい!』という夢を掲げ、すべての情熱、愛情を注ぎ込み、取り組んだ。

野球部は次第に力をつけていったが、香田監督の前に大きく立ちちはだかったのが冬の雪だった。『さあ、練習だ!』と外へ出ても雪で覆われたグラウンドに部員たちのやる気はしぼんでしまった。『甲子園出場、そして日本一という目標を達成するにはなんとしても、この冬を克服しなければならない。でも、どうやって…』香田監督は悩んだ。積雪のある北海道では室内での練習が一般的であり、北海道のチームには『冬は雪が積もり、まともに練習できない北海道の学校は本州の学校には勝てない』という思い込みが浸透していた。九州(佐賀県)出身の香田監督は『それでいいのか…』と戸惑うが、周りからは『北海道には北海道のやり方がある』、『北海道の野球を早く覚えた方がいい』等の声が寄せられた。

雪の日の練習に苦労した末に香田監督に浮かんだのは

『雪が邪魔なら、どければいい!』と発想だった。グラウンドにブルドーザーを持ち込み、雪を取り除き、吹雪の中でも練習に打ち込んだ。最初は怖じ気づいていた部員たちも、いつしか『気候に恵まれた地域のチームには絶対に負けない!』がチームの合言葉になっていった…。そして10年後、ついに悲願の初優勝を成し遂げたのだった。



私たちは自分自身で『できない』、『どうせ無理だ』と決めつけて、夢や目標を簡単にあきらめていることはないだろうか? 『できない』、『無理』と言うとそこから先は何も生まれません。あきらめてしまったら進歩はない。『できない』、『無理だ』と決めているのは自分自身だ。自分で自分に壁を作り、『どうすればできるか』を探ろうともせず、初めから努力や工夫を放棄しているのではないだろうか?

『あきらめなかった者、挑戦し続けた者だけが…夢にたどり着く』のだ。」 (校長 四元清路)

## 2学期の到達目標の達成状況 ※1月26日現在

本校では教育活動を進めるに当たり到達目標を掲げるとともに、その達成状況を保護者・生徒・職員の評価等をもとに把握しています。2学期の状況は下記のとおりです。今後、改善策を講じ、教育活動推進に努めてまいります。

※ 肯定的回答とは…4段階評価のうち、4(「よい」、「できている」)と3(「大体よい」、「概ねできている」)の合計の割合

	項 目	目 標	結 果
1	平日の家庭学習時間(9~11月の全学年平均)	100分以上	127分
2	授業づくりの教師の自己評価 ※詳細は下記項目参照	肯定的回答 75%以上	81%
	① 本時の目標(学習課題)を板書し、生徒の意識化を図っている。		92%
	② ペアや小グループで解決をめざす場(教えあう場)を設定している。		92%
	③ 自分の考えを説明する場、書く場を設定している。		82%
	④ 学習内容を振り返る時間(生徒同士の確認等も含めて)を確保している。		73%
	⑤ 学びの面白さを感じさせる指導の工夫をしている。		82%
	⑥ 予習・復習の指示や「智徳をみがく」の活用等、家庭学習に取り組ませている。		64%
3	授業面に関する生徒アンケート ※詳細は下記項目参照	肯定的回答 75%以上	79%
	① 授業では今日の学習の目標(めあて)をつかんでいる。		91%
	② 授業ではお互いに話し合ったり、教え合っている。		87%
	③ 授業では自分の考えを発表したり、書いている。		73%
	④ 授業では最後に学習内容を振り返っている。		68%
	⑤ 授業はわかりやすく、おもしろい。		74%
4	学校生活に関する生徒アンケート ※詳細は下記項目参照	肯定的回答 90%以上	85%
	① (私は)学校に行くのが楽しい。		77%
	② (私は)学校のきまりを守っている。		92%
	③ (私は)自分の進路や将来のことについて考えている。		74%
	④ (私は)清掃活動にしっかり取り組んでいる。		92%
	⑤ (私は)生徒会活動にしっかり取り組んでいる。		89%
5	むし歯治療の推進	治療率 90%以上	84%
6	事故防止の徹底	事故報告前年度比 15%以上減少 ※14件以下	21件
7	学校だより・HPを活用した情報提供	月1回の発行・更新	発行・更新中
8	P T Aでの学校経営方針・教育活動推進状況の説明	各学期1回	各学期1回実施
9	信頼される学校に関する保護者アンケート ※詳細は下記項目参照	肯定的回答 80%以上	84%
	① 学校は(生徒の様子など)情報をきちんと伝えている。		81%
	② 学校は徒や保護者の悩みや相談に応じてくれる。		81%
	③ 学校はP T A(保護者)や地域とよく連携している。		89%



### 力を合わせて、すばらしい門松ができました!

12月24日(日)、生徒会役員やP T A役員の方が中心となって、門松づくりを行いました。正門に設置された立派な門松で気持ちよく新年を迎えることができました。

## 2月の行事予定

- 1日(木) 鹿児島ジュニア検定
- 2日(金) 3年学年P T A
- 6日(火)~12日(月) 家庭学習強調週間
- 8日(木) いい歯の日、租税教室(1・2年)  
テスト前部活動停止
- 13日(火) 学校保健委員会
- 13日(火)~15(木) **学年末テスト**
- 16日(金) 清掃ボランティア(1・2年)
- 18日(日) P T Aリサイクル活動